

事業所自己評価表(第5回)

事業所名: スミール

記入年月日: 令和5 年 8月 30日

		チェック項目	職員からの意見 (工夫している点、課題や改善すべき点など)
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	個別活動と集団活動を分けることで、密を避けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	余裕をもった人員配置で、安全面の確保に努めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	感覚過敏の子に配慮し、照明や音の調整を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	季節に合わせて装飾を変え、子どもたちが楽しめる空間を作っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	新人職員も意見を出しやすい雰囲気づくりを意識している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	回答しやすいよう設問数を見直した。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	評価結果をスタッフ会議で共有し、改善計画を立案している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	スタッフ同士で学びを共有する「ミニ勉強会」を開催している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	チームで情報を整理し、多角的に課題を分析している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	ツール結果をもとに保護者説明を行い、支援方針の理解を促している。
	11	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	活動ごとに「計画の目的」を明示し、支援の意図を確認している。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	新しいアイデアを歓迎する風土を意識的に作っている。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	「子どもたちのリクエスト」をテーマに活動を構成している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	集団活動の中にも個別の課題を設定して支援している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に危険予測を共有し、安全対策を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	退勤時間の関係で全員揃わない場合は、連絡帳で共有している。
関係機関 や保護者 との連携	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録内容を翌月のモニタリング資料として活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	成果や課題を記録し、次期計画に反映している。
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	利用児の支援状況を的確に伝えられる担当職員が出席している。
	20	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	保護者の要望を受け、関係機関との連携を迅速に行っている。
	21	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	就学支援の場面では、教育委員会や学校と早期から相談を行っている。
	22	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	看護師が中心となり、緊急時の対応ルートを整理している。
	23	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	園児と一緒に製作活動や歌遊びを行う機会を設けている。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	保護者の意見を聞くための面談日を定期的に設けている。

		チェック項目	職員からの意見 (工夫している点、課題や改善すべき点など)
保護者への説明責任等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	難しい制度用語は、図解を用いて説明している。
	26	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	同意署名の前に、保護者の理解度を必ず確認している。
	27	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	内容によっては児発管や看護師に引き継ぎ、チームで支援している。
	28	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会をオンラインでも開催できるよう環境を整えた。
	29	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	相談があった際は、速やかに管理者へ報告し対応している。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報は紙とPDFの両方で配布している。
	31	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報研修を実施し、意識の徹底を図っている。
	32	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	職員がゆっくり・短く・明るく話すことを意識している。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	新人研修で緊急対応の基本手順を説明している。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難経路を図で掲示し、誰でも分かるようにしている。
	35	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	毎朝、体調チェック表でその日の様子を確認している。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーのある子の情報をカードにして調理場と共有している。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	類似事例を分析し、再発防止策を職員で検討している。